

聖霊降臨節第17主日

朝第1礼拝 9:00~10:00
朝第2礼拝 10:30~11:45
 <神の招き>
 前奏 ①主よ、み顔をわれらに向けたまへ ベーム
 ②神により頼むものは クレプス
 招きの詞 詩編121:1~8
 交読詩編 23:1~6
 讃美歌 211
 <神の言葉>
 聖書 エレミヤ書50:4~7
 (旧約 聖書協会共同訳 1254頁)
 ペトロの手紙一2:11~25
 (新約 聖書協会共同訳 420頁)
 祈禱 505
 讃美歌 「異教徒の間で生きる」
 説教 甲賀正彦伝道師
 祈禱
 黙想
 讃美歌 566
 <神への応答>
 使徒信条
 献金
 主の祈り
 頌栄 29
 派遣と祝福
 後奏 ①天にまします我らの父よ バッハ
 ②神により頼むものは バッハ
 宣教報告

夕礼拝 18:00~19:00
 <神の招き>
 前奏 高きにあります神のみ栄光あれ J. パッヘルベル
 招きの詞 詩編121:1~8
 交読詩編 23:1~6
 讃美歌 4
 <神の言葉>
 聖書 詩編18:26~37
 (旧約 聖書協会共同訳 833頁)
 ルカによる福音書16:19~31
 (新約 聖書協会共同訳 139頁)
 祈禱
 讃美歌 51
 説教 「金持ちとラザロ」 熊江秀一牧師
 祈禱
 黙想
 讃美歌 453
 <神への応答>
 使徒信条
 献金
 主の祈り
 宣教報告
 頌栄 29
 派遣と祝福
 後奏 イエスは我が喜び G.P. テレマン

今週の御言葉
 ペトロの手紙一
 2:17
 すべての人を敬い、
 きょうだいを愛し、
 神を畏れ、王を敬
 いなさい。

次週の礼拝(9月15日) 敬老祝福礼拝(聖餐式執行)

①9:00 ②10:30 18:00
 説教「命にあずかる道」熊江秀一牧師 エレミヤ書19:1~5、マルコによる福音書9:42~50
 交読詩編103:14~22 讃美歌 8、57、451、78、29

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。
 1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に 2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
 3. 敬老祝福礼拝の為に 4. 各部例会の為に 5. 東京神学大学埼玉地区後援会の為に
 6. 関東教区の為に 7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
 8. 病気の兄弟の為に
***関東教区お祈りカレンダー** 矢板教会 西那須野教会 那須塩原伝道所

◇先週の説教より「主イエスの味方」 マルコによる福音書9:38~41、イザヤ書42:1~4 熊江秀一牧師

今日の箇所は、前回の「いちばん偉い者」に引き続いて起こった。ヨハネは「私の名のためにこのような子どもの一人を受け入れる者は、私を受け入れるのである」という主の言葉を聞いて発言した。
 「あなたのお名前を使って悪霊を追い出しているのを見ましたが、私たちに従わないので、やめさせました」。
 主の名を使うのなら、主の弟子の仲間に加わるのは当然だ。そうしない者は、主の名を使うべきではないと告げた。
 この箇所を読んだ青年が、自分の学ぶキリスト教主義の学校のことを語った。学校には信仰を持たない生徒、教師が大勢いる。その人々に対して、主イエスを受け入れないのに、この学校で学び、教えるのはけしからんと言う人がいる。その人とヨハネの姿が重なったと語った。信仰がなくても、沢山の人がキリスト教式で結婚式を挙げ、ゴスペルを歌う。クリスマスには、日本中が祝う。その人々に対して信仰者は、

どう受け止めるか。私たちがヨハネ的な思いを持ってしまわないだろうか。
 そんなヨハネや私たちに主は告げる。「私たちに逆らわない者は、私たちの味方なのである」。
 主は私の弟子であるならば、人をさばくのではなく、味方として受け入れ、共に恵みにあずかるように告げる。
 これは私たちが御言葉をどう聞くかが問われることでもある。御言葉に照らされ、生きるのである。
 その生き様を主イエス御自身が示された。主はご自分を十字架にかけた私たちを、敵とすることなく、私たちの味方となって受け入れた。
 この主の弟子として、主の御名によって受け入れ合い、一杯の水を飲ませてくれる隣人と喜び合いたい。「この町には、私の民が大勢いる」(使徒18:10)。主の十字架の愛の中で、主の恵みを共に喜ぶ群れとして歩もう。